



コロナ禍の中、配慮しながらできることを

今年度はコロナ禍のため、多くの教育活動が中止・変更を余儀なくされました。小中一貫教育における行事や会議等也是如此です。そのため、この「三中地区小中一貫だより」も年4回の発行予定を2回に変更しました。コロナ禍の中、各部会等で実践できた事を今年度の活動報告として共有しておきたいと思います。



校長部会

校長部会は、コロナによる休校措置を終え、学校生活が戻ってきたのを踏まえてから実施しました。毎月1回、三中地区の小学校を輪番して会議を持ちました。目前のコロナへの対策を中心に、各学校の学校運営について情報交換を行いました。

令和3年度も、引き続き乙戸小が事務局です。今年実施できなかった担当やローテーションを見直して、令和3年度も三中地区の子ども達のために活動していきます。

推進主任会

各校の教務主任が推進主任になっていますので、毎月の教務主任会で話し合いを進めてきました。コロナ禍の中で学校行事をどのように実施しているか、休校になったところを踏まえて授業の進捗はどういう状況か等を中心に、確認しました。特に学力向上につなげる R80（振り返りを活用した学習内容の定着）の着実な実施について情報交換しました。

ゆたかさ部会

5月26日（火）14：00から乙戸小にて生徒指導研修会の実施

- ・「学校生活のきまり」について、小学校から中学校へスムーズに移行できるように髪型や持ち物、ルールなどの情報交換をしました。
- ・小学校から中学校への引き継ぎ資料について、様式の統一や見直しを行いました。3月の年度末は事務処理が多くなるため、働き方改革の視点からも見直しました。子ども一人一人の9年間の記録の蓄積として効果的に活用できるように話し合いました。

すこやか部会

12月3日（木）15：30から Web 会議を実施し、以下の内容について話し合いや確認を行いました。

- ・感染症発生時の情報共有について
- ・食物アレルギーの対応について
 - 管理指導が必要な児童生徒の面談は、例年通りの対応を継続する場合は面談は実施せずに、対応プランで確認する。
- ・引き渡し訓練について
 - 引き渡し名簿は三中で作成する。訓練は5月以降に実施する計画。
- ・三中学区学校保健委員会について
 - 来年度実施できれば、今年度の内容で実施する。
- ・避難所開設について
 - 防災倉庫内の確認。各校避難場所として使用する教室等設定について
- ・IP 無線機の活用について

2月下旬から3月初めに Web 会議を実施する予定があります。次年度の取り組みについて話し合う予定です。



* 各学校の取り組みの様子 *

★土浦三中★

本校では、学校教育目標の具現化に向けて「場を清め、時を守り、礼を正す」「かけがえのない命を大切に」「人の心がわかる心をもつ」ことを柱に、全職員一丸となって取り組んでいます。アンケートによると、9年生の80%の生徒が「三中は、自分にとって、楽しく充実した学校であると思う。」と答えています。例年、学年が上がるにつれてこの割合が増えています。今後も三中地区各小学校との連携を大切にしながら、義務教育のまとめと生徒一人一人の自己実現に向けて取り組んでいきます。

今年度は、4月下旬から、臨時休校の再延長を想定しグーグルのサービスを利用したグーグルクラスルームを導入し、臨時休校中における、家庭学習を支援するための取り組みを進めてきました。現在は、活用の幅も広がり、3学期の始業式はグーグルミートを用いてオンラインで実施しました。今後も、コロナ禍の中での生徒一人一人の学びの保障に向けて努力してまいります。

★荒川沖小★

今年度は、コロナの影響で例年とは違う学校生活でしたが、健康面に留意し、新しい日常の中で、子ども達が、より良い学校生活が遅れることを目指して教育活動に励んでまいりました。職員間の情報交換を大切に、連携して子ども達を見守ることで、自己有用感・自己肯定感を高める教育を目指してきました。

学習に関しては、「分かる」授業の積み重ねによる、学力向上と児童一人一人の豊かな学びの実現に向けて、全職員が研究授業を実施し、研修を進めてきました。

今後も、地域の皆様のご理解、ご協力を得ながら、「一人一人の児童の瞳が輝く学校」を目指し、教育活動を行ってまいります。



★中村小★

今年度は、表現力をつけることを目標に、授業研修を実施し、行事や教育活動を展開しました。特に6年生は、中学校への接続を踏まえ、学年あげて子ども達の主体的な活動を促してきました。音楽や図工、体育での自己表現、朝の話し合い活動での意見交換など、コロナ禍でしたが大切な活動ですので気をつけて取り組んでいます。活動の様子は、学校 HP で随時、発信してきました。

学校として「大きな夢」と「小さな目標」という組織目標を掲げています。アンケートによると、小さな目標を持っている児童は77.4%です。今後も三中地区の連携を大切にしながら、中村小の子ども達が大きな目標を達成できるように、全職員で取り組んでまいります。



★乙戸小★

合言葉である「明日もまた来なくなる学校づくり」を、今年度は「明日もまた来なくなる楽しい学校づくり」とし、不安な心に機能する「笑顔(楽しい)」をキーワードにしました。遠足等大きな行事は限られたものの実施となりましたが、さまざまな制限がある中でも、感染症対策を講じた上で、学校ならではの学びに重点を置き、できることを考え、工夫しながら学習活動を行ってきました。授業での「説明し合う」協働的な学習場面、ものづくり等の表現活動、体験活動などです。校外での活動等、保護者や地域の皆様、外部講師の方々のご理解とご協力があったからこそ学習活動も数多く実施できました。今後も日常の有り難さを大切にしながら、児童が安心・安全で心豊かに成長できるように、全職員で努めてまいります。



★東小★

東小では、「あいさつは明るく」「声（こえ）かけはやさしく」「掃除（そうじ）は黙って自分から」の「あいこそ」を合言葉に「まかせて・ほめて・伸ばす」児童が主体の学校づくりに取り組んでまいりました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら健康・安全面の指導を第一に、尚且つ学校での学びの流れを絶やさずに「明日が楽しみ」と思えるよう教育活動を行っております。特に、二学期は校外での共同学習や遠足、ミニ運動会、5・6年音楽会などの行事を実施しました。実施にあたり、時には児童のアイディアを活かし新しい生活様式の中で何ができるか、どんな学びがあるか検討を重ねました。

今後も、児童が自分たちで考え生活をよりよいものにしていく力を身につけることのできる学習活動、学校行事を目指してまいります。

